

上十条一丁目路地園芸トライアル

第3回ワークショップ 路地園芸実践ワークショップ

講師： 賀来 宏和氏

株式会社グリーンダイナミクス代表取締役

片山 陽介氏

株式会社グリーンダイナミクス植物調査室

◆ワークショップ「路地園芸実践トライアル」

- ・前回議論した内容を実践しよう

平成18年4月25日(火)

13:00～17:00

上十条一丁目西町会会館

上十条一丁目17番21・22号前路地

## 事前説明

司会 皆さん、お寒い中、雨の中ありがとうございます。いよいよ路地園芸トライアル最終回というか実践トライアルということで、あいにくの天気ですがグリーンダイナミクスさんもこれからお花の季節で、お忙しいということで日程が取れないので、今日やってしまいたいと思っています。お体に自信がないとか体調を崩されている方は、こういう天気ですので最初から、途中からでもお帰りになられて結構ですので、無理なさらないようにお願いします。今日も講師はグリーンダイナミクスの片山さんと賀来さんに来ていただいております。後ほどご説明等よろしくお願いいたします。

それから今日は思わぬ来賓がいらっしやいまして、区役所の方から

### 北区まちづくり部長挨拶

萩原 北区のまちづくり部の部長、萩原と言います。公務員は4月がだいたい人事異動の季節なのですが、前任の吉原さんが東京都の方に戻りまして、わたしはまた東京都の方からやって参りました。北区は初めてなんですけれども、だいぶ前なんですけど北区の清掃工場、あそこの脇に憩いの家があってお湯を送っていますよね。あの工事を現場で担当しましたのが北区ではあります。これから皆さんといろいろなことをやりながらがんばっていきますので、よろしくお願いします。

### 北区まちづくり部参事挨拶

佐藤 北区まちづくり部参事の佐藤です。まちづくり公社の事務局長を兼務しております。いろいろお世話になっています。

司会 それから、公社から富永さん、環境課から

### 北区環境課挨拶

星野 星野でございます。

司会 というようなメンバーです。あとは路地のまち連絡協議会から大熊が来ております。ちょっと今雨が強いので、片山さんの方から今後の手順みたいなものをお話しいただければと思います。



片山 天気が非常に悪いんですけれども、おそらくわたしが雨男なせいだと思うんですけれども。今まで1回、2回と通しているいろいろやってきましたけれども、実際今日植え付け等の作業をしていただくのはJコーポの壁の部分、本当にできるとは思っていなかったのですが、立派なラックができましたので、あれにプランターを取り付けて飾っていきたくい。

それからもう一つはTさんのエントランスの部分ですね。非常に細いところなんですけれども特徴があって面白いので、お花で飾っていきたくいと思います。それとYさ

んの前のところに縁台を作りまして鉢植えを置いていきます。それと井戸のまわり、こちらにも鉢を置きます。

それから最後、Hさんのところに立派なよしずがかかりまして、日陰になってしまったかなと思っておりますけれども、その前をきれいに飾っていきたいと思います。

午前中準備をしまして、Tさんお宅の路地の上の部分の土をあらかじめ掘って、午後から新しく土を入れてそこに植えていきます。力仕事がありますので、こちらは男性軍にがんばっていただいて、女性陣はプランターや鉢に植物をメインで植え付けていただく、という段取りを考えています。

植物に関しては手配済みで下に置いてあるとおりですが、プランターの上に植物をいくつか並べて置いていきますけれども、あの上ではなくてポットを抜いて植え付けて向こうに運んで飾るというふうに考えています。プランターに置いてある植物については、また後ほど説明をしたいと考えていますが、雨が降っていて寒いので、どうしましょうか、上で説明してもさっぱりわからないと・・・10分でも下に行って植物の説明をしてから作業を開始したいと思います。

司会 では、そういうことで、天気も天気ですので、さっとやってしまいたいと思います。よろしくをお願いします。

### 植物の説明

片山 では、雨があがっているうちに、今日使う植物の説明をします。何種類あるのか、わたしにもよくわからないのですが、沢山種類がありますが、順番にお花から行きましょうか。

ここにあるのは、皆さん、わからない？正解。マリーゴールドです。よく見るマリーゴールドはオレンジとか黄色とか赤ですけども、これは白のマリーゴールドです。あまり出回っていませんので珍しいと思います。マリーゴールドの中で唯一白い花の品種です。これしか白い花のマリーゴールドはないんですね。ホワイトバナラといいます。

これは皆さんご存じのペチュニアですね。南米の植物です。



参加者 南米のどこ？

片山 ブラジルとか、チリ、アルゼンチン、ボリビアその辺りです。

これはピンクのペチュニアですね。これがキンレンカ、ナスチウムと言われていきます。葉をかじるとちょっとピリッとした感じがしますので、サラダの彩りとかにも使われます。エディブルフラワーといって、よく花を食べるのがありますがけれども、そういうのにも使われたりする植物です。

それからこれがゼラニウムと呼ばれている植物ですね。後ほど、ここにも実はこういう植物があるんですけども、これはゲラニウム、こっちはゼラニウムです。よく

一緒じゃないかって言われるんですけども、こっちは正しい学名でいうとペラルゴニウムという植物なんです、よくお花屋さんでペラルゴニウムというのは一季咲きで春しか咲かないんですが、こっちは四季咲きです。ゼラニウムというふうに区別されていますけれどもペラルゴニウムという植物です。こっちはゼラニウムという植物。

賀来 これは江戸時代の末期か明治にはこの葉っぱで楽しんでいたんですね。これがモンテジクアオイですね。

片山 それから、ここは

参加者 ニチニチソウ。



片山 はずれです。インパチェンス。どちらかというとも初夏から夏にかけてすごく生育が盛になる植物ですけども、インパチェンス。非常に日陰でもよく咲いてくれる植物です。丈夫です。これは1年草ですので、冬、温度が低くなってくると生長が鈍くなって枯れてしまいます。

賀来 これはある程度こう盛り上がってきたら、一回ピンチしても大丈夫だよな。

片山 はい。色は何色があります。

今花が咲いているのでいうと、これは皆さんあまり見たことがないと思いますが、ティアレラという植物です。ティアレラです。北米の植物です。非常に寒さにも強いですし、常緑です。花に甘い香りがあります。ユキノシタ科の植物でいわゆるシェードガーデン、日陰のお庭でも耐えるような植物です。宿根草ですから、毎年花があがります。

もうひとつ花が咲いているのが、変わった色をしています、クロバナフウロソウといいます。いわゆるゼラニウムというもので、これと同じ仲間です。花の色がこういう色をしていますので、非常に変わっていますけれども、これも宿根草です。

先ほどから出ています、これもゼラニウムでビルウォーリスという品種、こぼれ種でよく増えます。草丈はもうちょっと、20センチくらいまでになります。これは日当たりでも日陰でもいいですね。どっちでも使えます。

今花が咲いているものはこれだけですね。あとは、もちろん花は咲くんですけども、今花がない植物もあります。そっちから順番に行きますけれども、これはちょっと株が小さいんですけども、わかりますか？これはツボサンゴと呼ばれている植物です。ヒューケラですね。これも常緑の植物で、ユキノシタの仲間なのでティアレラと親戚といえば親戚ですね。

ここにあるのがですね、沖田会長が染めて真っ黒にしたんですけども。

参加者 本当～？

片山 嘘ですよ。(笑)オオバジャノヒゲのコクリユウというものです。日があまり当たらないところはグリーンに、日が強く当たると真っ黒に。ただ日陰に植えても全部緑になるかというところそういう訳じゃないんですね。年中変わらずこういう色をしています。植物としては、非常に面白い。これは白から紫の花が咲いて、黒い実がなります。



参加者 それが生種になって落ちるとまた出てくる？

片山 それが生種になると、グリーンの葉と黒い葉とそれぞれわかれてでてきます。全部が黒になる訳じゃないんです。

こちらが、よくハーブで使われます、タイムです。クリーピングタイプですからいわゆる這っていくタイプですね。立ち上がるのと、地面を這うものとあるんですけども、こちらは地面を這う方です。ピンク色の花が咲きます。

これもマットみたいにぺたっとしていますけれども、ミントですね。ペニーロイヤルミントというもので、これも地面を這っていきます。ピンク色の花が咲きます。

これはよくインテリアとかで使われますけれども、ワイヤープランツ。ワイヤー、針金みたいですね。タデ科の植物、ミュレンベッキアという名前なんですけれども、これは霜が強降りたりとか寒い地方は葉を落として冬を越えるんですけども、おそらくこのあたりだった冬も葉を落とさずにこのままの状態ですと。これも上に伸びるのではなくて、地面を這うように生長する植物です。

これは、ベニシダと呼ばれるもので、新芽の時期、もうちょっとしたらもっと赤くなります。葉っぱが赤いんですね。この状態ご覧になってわかるように落葉ですから、冬は葉がなくなります。春に新しく出てくると。

最後はアイビーですね。ヘデラと呼ばれています。色々な斑入りがありまして、コレクターも結構多いようです。冬もこのような状態ですし、斑が入る部分は冬になると赤く紅葉します。とても丈夫な植物ですし、コップに差ししておくだけで根が出てきたりします。

もう一個ありましたね。パルテノシッサスといいます。ブドウ科の植物です。ツタの仲間なんですけれども、オランダで4年くらい前に育種された比較的新しい植物です。これも釣り鉢に植えると垂れ下がったり、そういう使い方をします。

参加者 花は？

片山 花は咲きますけれども、ブドウの花、ご存じですか？

参加者 ブドウの花？

片山 はい。

参加者 実は？

片山 実はできません。ブドウの花と同じような花です。

以上です。1年草の説明をします。ここにあるペチュニア、ナスタチウム、一年草って便宜的に外で冬を越えるか越えないかという話をしていますけれども、ナスタチウムも外に置いているとダメになります。部屋の中だと持ちますが扱いとしては一年草です。それからマリーゴールドも一年草です。ゼラニウムも強い霜とか雪が降ったりそういうのが何回も繰り返すと傷んでしまいますけれども基本的には宿根草なので保つことは保ちます。それからインパチェンスですね。これも一年草です。

賀来 比較的こぼれ種で元に戻るから、抜いた方が良いものはマリーゴールドとペチュニアかな。

片山 そうですね。

賀来 割とインパチェンスはこぼれ種で出ます。残るものが多いですから、ペチュニアなんか抜けたあと、秋に終わったらまた次の春に植えてもらえば。



木村 男性軍は土方に(笑)、女性軍はここで鉢植えに花をアレンジしてください。

## 花の植え方

片山 植え方ですけれども、今わたしが仮に置いていますがけれども、バランスを考えて置いていました。垂れ下がるものは基本的に鉢の縁を隠したりとか、そういった植物を手前に置いてあります。寄せ植えとか鉢植えを飾るときに、できるだけ鉢が隠れる方がきれいに見えるんですね。植物で覆われていると、そういう状態がすごくきれいに見えるひとつです。ですから植えるときにできるだけ、鉢植えもそうですけれども鉢の縁が隠れるように植えるのがひとつですね。そういうような形で植えていきます。

隠れるように植えるときに、ポットを取って見ていただくとわかるんですけれども、これ、ポットの真ん中に1本しか植わっていないんですね。このまま植えると、植物体の中心はここなのにこれだけ無駄なスペースがあるんですね。このまま植えるとこの部分が、真ん中に集まっちゃうんです。そうなるのでせつかくこの縁を隠そうと思っていくら端に植えても、ならないんですね。ですから必ず鉢の周囲に植える植物は、この壁に当たる部分の土を重点的に落とします。上に乗っかるような状態、中心がここに来るように土を落とします。枝垂れるものがこの縁にぎりぎりに来ている方

がよりいいです。それから土はある程度沢山入れておかないと、枝垂れる植物は一回上がってこう下りてこないといけないので、なかなかきれいに枝垂れないんですね。

土を落とすときに、ここにくっつけるんだからこの土ガリガリ落とせばいいんだとそういうふうにすると植物はかなり傷んでしまいますので、横にある根はあまり触らない。例えばどっちを正面にするかを良く考えていただきたいんですけども、正面にする方が決まれば、例えばこう見て正面にすると、となるとこの土が要らない。となるとこの土を落としていく、後ろ側ですね。前は何も触らない。でこういうふうに置くと、壁ぎりぎりに。

参加者 つぼみの向きとかもあるんでしょ？

片山 つぼみは次々に出てきますから、どこを正面にしても基本的に日のある方に向きなおしますから、構わないんですけども、今飾ったときにですね、なんかちょっと違う方向を向いているなっていうよりは揃っていた方がいいですよ。



参加者 根は切らない方がいいですよ。

片山 根は切らないでください。切らないでくださいといっても多少切れますから仕方ないんですけども、長く出ているのはそのままに。きれいに巻く必要も何もありません。そのまま置けばいいです。あまりにも根が回りすぎて取りにくいような植物は、無理にとると全部根が切れますので、バケツを持ってきて洗ってください。洗うと土だけが落ちて根はそのままになりますからそういう形で。

参加者 新しい土は置かなくても大丈夫ですか。

片山 置かなくても大丈夫です。最後全部置いたら土をしっかりと入れて水をやる、と。こういう植え込みは、全部根を崩してからあてもないこうでもないに入れ替えをすると植物が傷んできますから、レイアウトを決めてポットを抜いて土を崩したら、瞬時に植えていくと。



土は今、仮にだいたい7分目から8分目くらい入れていますがけれども、ちょっと低いなということであれば足してください。これが完成ではないですから。土はここにありますので。

## 園芸トライアル

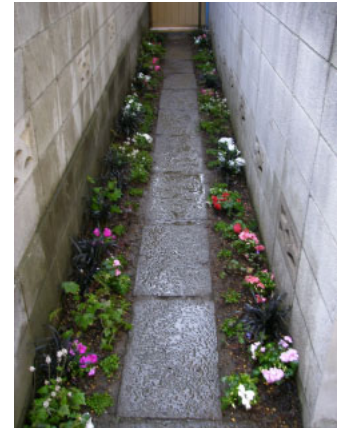
### Jコーポ前ブロック塀

- ・特注ラックにプランターハンガーを掛け、コーヒーの麻袋をかけたプランターをセット
- ・植えたもの  
マリーゴールド ホワイトバニラ、ゼラニウム、ペチュニア、アイビー、ワイヤープランツ、コクリュウ等



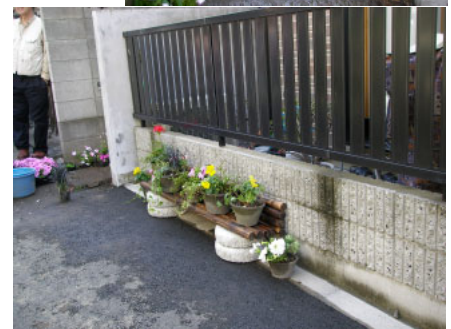
### T邸前

- ・石炭ガラが入っていた土を入れ替え、日陰にも強い植物でアプローチを構成
- ・植えたもの  
ティアレラ、ヒューケラ、オオバジャノヒゲ コクリュウ、タイム、ミント等



### Y邸前

- ・御影石と杉杭で縁台を作成し、小さい鉢植えを飾った
- ・植えたもの  
ナスタチウム、ゼラニウム、ペチュニア、アイビー、コクリュウ等



### 井戸周辺

- ・井戸近くに鉢植えとコーヒーの麻袋をかけたトレーを配置した
- ・植えたもの  
マリーゴールド ホワイトバニラ、ゼラニウム、ペチュニア、アイビー、ワイヤープランツ、オオバジャノヒゲ コクリュウ等



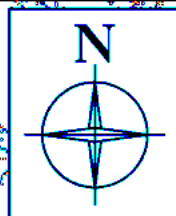
### H邸前

- ・プライベート部分との境界をよしずで区切ることによって、路地の突き当たりの風景をすっきりと見せた
- ・鉢植えを配置した
- ・植えたもの  
マリーゴールド ホワイトバニラ、ペチュニア、ゼラニウム、アイビー、パルテノシッサス等





## トライアル内容



### Y邸前

松杭と御影石飛び石で作った縁台に、鉢植えを設置。鉢は黒で統一。  
花苗配送用のトレーに麻袋をかぶせて作ったプランターを邪魔にならない場所に設置。

H邸

### H邸玄関ポーチ

よしずで背景を整理し、元からあった箆の鉢と、花苗配送用のトレーに麻袋をかぶせて作ったプランターを設置。

T邸

Y邸

井戸

### T邸アプローチ

飛び石の両側の土を入れ替え、葉物と花を植えて、花が際だつように演出。

### 井戸周辺

井戸の排水部分に植木鉢を設置。  
また、花苗配送用のトレーに麻袋をかぶせたプランターを作り、賑やかに修景。

Jコーポ

### Jコーポブロック塀

ブロック塀に、黒の鉄筋で作った特性ラックを設置し、プランターに麻袋をかぶせたものを3個ぶら下げる。

直下の地面にも3個プランター(同上)を設置。



### 第3回ワークショップのまとめ

司会 皆さん、どうもお疲れさまでした。雨も降ってどうなることやらと思いましたが、最後は晴れてくれて助かりました。ありがとうございました。

今回区役所さんがサービスをしてくれて、注文した花屋さんもサービスをしてくれて、花がずいぶん余ったようですが、まだいくつかが余っていますのでもしよろしければお持ち帰りになって結構です。

今日花植えをしていただきましたけれども、今日限りではなくて、花は日頃のメンテナンスが必要かと思えます。今日の講評を含めて、その辺のお話しを含めて、片山先生の方からお話しをいただければと思えます。よろしく願いいたします。

片山 皆さん、どうもお疲れさまでした。えー、言葉がないんですけど。そうですね。植物を植えるということひとつひとつをとっても、慣れないとなかなか難しいです。すごくボリュームの良かった植物も、皆さんの手にかかるとボリュームが半分くらいになったものもありますけれども、植物というのは簡単に折れてしまいますので、やっぱり植物同士が当たっても折れますし、人間の手が当たるとすぐ折れてしまいますので、お花屋さんは結構気を遣って植物を扱っているということをおわかりいただけたんじゃないかなと思えます。



それと、植えるときに土をそのまま上からばさっと落としますと、つるの長いものとつるを一緒に巻き込んで土の中に埋めてしまったりとか、葉も一緒に巻き込んで土に埋めてしまったりいろいろありますので、なるべく葉を上に向けて土を入れると、というようなことを心掛けるようにしてください。

今後のメンテナンスについては、ああいう寄せ植えなどをつくりますとどうしても根を崩してしまいますので、人間でいうと手術をしたことになります。手術をした人間をいきなり日の当たるところに出して明日から歩けと言っても、なかなかそれだけのパワーがありませんから、植物も一緒です。

根から水を吸って葉の裏から出すわけですがけれども、根を崩すということは、吸水、水を吸う力が弱っています。けれども植物体、上はそのままありますから、水分だけが出て行く状態になると、人間でいえば脱水症状を起こしますので、この数日間は水やりを気をつけていただきたいと思えます。基本的には、乾けば水を与えるということの繰り返しです。そのくらいですか。

あと何か、皆さんの方からこれを知りたいということがあれば、ご質問に答えるという形にしたいと思えますけれども。

参加者 肥料は？

片山 いい質問ですね。肥料ですがけれども、大体1週間から10日くらいするとだんだん

落ち着いてきますので、もし肥料を与えるのであれば、1週間から10日を目安にして与えるようにしてください。肥料の種類に関しましては、緩効性の化成肥料というのがありますので、それを適量与えるようにしてください。もしくは、希釈倍率よりもかなり薄目にした液肥であれば、毎日与えても構わないです。あまりチッソ分の肥料を多く与えますと、花が咲かずに葉がいっぱい繁ってしまいますので、リン酸とカリウムの多い肥料を与えてください。

参加者 お水はどの程度で。

片山 乾いたら与えるという程度で、表面が乾いて1日か2日たったくらいですね。毎日とは与えなくて構わないです。ただ気温にもよりますので、真夏であれば毎日くらい与えないとちょっと保たないかなと思います。基本的にプランターはプラスチックでできていますから、あんまり乾くということはないかもしれません。様子を見ながら、植物体がしおれているようであれば水を与えると。

参加者 植物の脱水症状という話がありましたけれども、先が悪くなっちゃうわけでしょう。そうしたらよく植木じゃなくてお花を生けたときに水切りというの水の中でしますよね。あの形をやってはどうなんでしょうか。

片山 初めての質問で。確かになくはないでしょうけれども、

参加者 水の中に浸しておいて、切るんです。

片山 ただ生け花であれば、2ヶ月も3ヶ月も保つ訳じゃないですよ。1週間か10日ということですよ。それと同じ状態ですから、根はあるけれどもあってないような状態です。ですから、たとえそういう切り方をしても、植物体が長く生きるという意味での保たせ方ではないと思います。

賀来 根っこ全体で吸っていますからね、切り花の時の茎と違って。間に空気が入らないようにして水が上がるようにしますけれども、根っこは先端からだけ吸っている訳じゃないので。

参加者 その後は全然見には来てくださらないんですか。

賀来 それもいい質問ですね。(笑い)

参加者 水はともかく、花がら摘みはやらないとダメですよ。あんなに咲いているようだったら毎日でもやらないと。

片山 ペチュニアあたりは結構花がらも汚いですから、花が大きくて目立ちますので、取

った方がいいと思います。あと、梅雨時期どうしても花にカビが生えてきますから、カビを生やすと病気の原因になりますので。

参加者 つぼみがどんどん見えるところにあるくらいだから。花がらは摘まないよ。

片山 ただ花がらを摘まなくちゃいけないというのが負担になってくると、花を育てることも楽しくなくなってきますので、生活第一優先ということでそれほど神経質にならなくても、花は適応力がありますので。そういった部分で楽しんでやっていただきたいと思います。

沖田会長 気が向いたときやればいいって。

参加者 友達に言った話ですけれども、花がら摘みの話でね、バスを待っている間に道路のところに出ている植木の花がら摘みをやっていたんですって。そうしたらお店の前のおじさんが「だめだよ。花は取っちゃだめだよ。」と言ったので「花がら摘みやっているんです」「花がら摘み?」「花がらは取らないと良く咲かないんです」「すみません」ということになったんです。

参加者 Tさんのところに植えたものは、11種類なんですよ。よく花が咲くインパチェンスなんかは別として、花を楽しむというよりも葉っぱを楽しむものが多いですよ。そういうものも同じように栄養をやっていいんですか。

片山 基本的には肥料を与えると生長が良くなりますけれども、宿根草に関しましては、定期的に肥料を与えなくても、土の力で株が充実してくれば、それほど肥料を必要としませんので、1ヶ月に1ぺんとかそういうふうに定期的にやらなくても構わないです。1年草に関しても、どうしても北海道あたりは別にして梅雨というのがありますので、そういう環境の条件が悪くなってくると、どうしても急速に花は傷んでいきますので、だいたい1年草は2ヶ月から3ヶ月楽しんだらだいたい株が傷んでくるかなあと、そういう考え方をすれば、あえて肥料とかを定期的に与えなくても十分生長はします。

宿根草に関しては、あまり肥料を与えなくても十分花は咲きますので、もし肥料を与えるとすれば、冬、植物が休眠しているときに寒肥（かんごえ）といって冬に肥料をやるんですけれども、そういう形で肥料を与えれば、もしくは堆肥ですとか腐葉土を表面に、要するに山と同じで上から落ち葉が降ってくるというような状態で土を充実させるとか、土をつくっていく方が肥料よりも地力？という方が非常に重要ですから、土の力をつけるということが。

沖田会長 今回は十分にいい土を入れていますので。肥料も含めてやっていますから。ほとんどほったらかしで大丈夫ですよ。

参加者 赤玉土と四分六くらいで入れるんですか。

片山 今回、土について何にも触れずにそのまま進んでしまったんですけれども、今回使った土はですね、草花用の培養土が割合で6、完熟腐葉土が3、完熟牛糞堆肥が1という割合です。草花用の培養土は、そのまま使っても構わないんですけれども、有機質がちょっと少ないんですよ。ですから、わたしはいつも腐葉土もしくは牛糞堆肥を混ぜるようにしています。使う場合は、完熟のものを使用してください。完熟していないものを使うとその場で発酵が始まりますので、熱を持って根が傷んできます。

沖田会長 市販されているもので、完熟じゃないものもあるんですか。

片山 あります。

沖田会長 では、指定しなくちゃダメですね。

片山 そうですね。値段と比例する訳じゃないん

ですけれども、安かろう悪かろうというのは多いですね。やっぱり安い腐葉土というのは、腐食していないもの、枝が多かったりとか、落ち葉も原型のまま残っていたりとかが多いですから。一番いいのは、粉状になっているくらいの腐葉土ですね。昔はふるいを通して選別していましたが、今はあまりそういうものがあまり売っていませんので、もし行かれる場合はご自分でふるいを通してやってみても。



沖田会長 うちの町会は、ちゃんとふるいがありますからね。言っていただければ、いつでもお貸ししますから。

参加者 最近よく乾燥剤に石灰使ってるじゃないですか。のりだとかなんかを買うと、石灰のつく？乾燥剤。あれの後ろを見ると、よく「肥料としてお使いください」って書いてあるんですよ。紙に入ってそれを破って使うんですけれども、書いてるのと書いていないのがあるんですけれども、植物の肥料としてお使いください、と。チッ素とリンとカリでしょ。石灰って。

片山 石灰は、全然関係ないですね。

参加者 中和ですか。そういう話も聞いたことがあるんですよ。土の改善にということ。本当に使っていいのかなと、いつも貯めてあるんだけど。なかなか溶けないですよ、土にまいても。

賀来 アルカリ性に強い植物だとか、土を改良するために使ったりするんですけど。

参加者 その袋には、石灰ですから水分なんかがあると熱を持つことがあるって書いてあるんです。それで平気なのかなあって。植物の植えてあるものにはちょっとかけられないですよ。寝かしておいて、ということでしょうね。わかりました。

賀来 反対に、良くあるのは建物の脇にくっつけて植栽がありますが、良くないですよ。コンクリートは石灰石ですから。

参加者 酸性ですもんね。

沖田会長 あと何かありますか。

賀来 今回コーヒー袋を用意していただいてああいう形にしますと、白いプランターとも雰囲気の違いがありますよね。それから鉢も割れやすい鉢なんですけど、統一してみると全然雰囲気が違いますし、そういう小物とかですね、組み合わせていただくとその場の雰囲気が変わってくると思います。

沖田会長 自分たちが一番変わったから。

参加者 そうですね。

参加者 料亭だって。

参加者 散歩から帰って「ありゃ」なんて見てて・・・

参加者 今日は、初め先生から「愛情込めて植えましょう」って言われて、今まで無造作に植えてたんですね。ポンと。

片山 植物体を見てわかるように、あの程度の大きさなので葉っぱ1枚というのが非常に重要なんですね。葉は光合成をして体を作っていくものですから、1枚欠けるごとに力がだんだん弱ってきますので。

参加者 今日植えたのは、花が咲いているものもあったんですけども、季節の移り変わりとしてはどうなんでしょうか。全体的には。

片山 全体的な季節の移り変わり。プランターに植えてあるものは、マリーゴールドも基本的には秋まで咲くものです。夏場に極端な乾燥とか、梅雨時に極端な多湿だとか、そうじゃなくても水やりで極端に乾いたり湿ったりを繰り返すと、どんな植物もそうですけれども、弱って寿命がすごく短くなりますけれども、基本的には秋まで咲きます。

インパチェンスも秋まで咲きますし、ペチュニアも基本的には秋まで保つんですけど

れども、どうしても夏、梅雨になってくると傷んでいきますので、そういう場合は切り戻しといって、植物体を半分くらい切って、植物体を小さくして夏を越させると秋まで。宿根草に関しては、今咲いているものは本来の時期でいう今咲くものですから、また来年もだいたい同じ時期に咲きます。

参加者 白いマリーゴールドはふえますか。

片山 種は、取れないです。

参加者 どうしてですか。あれはもう今年見ておしまい？

片山 取れないですというのは、あれと同じものを望むのであれば取れないですという意味なんです。F1ですから基本的に雑種ですので、種を取ると色々な子どもができます。

参加者 何が出てくるかわからないんですか。

片山 色は、あの色にはならないです。もちろんあの色になるものもありますけど、ならないものもあります。

参加者 あれは人工的に？

片山 そうです。人工的かというと、きちんと系統だった両親がいる訳ですけども、その組み合わせでないとあれが出てこないんです。

沖田会長 白いマリーゴールドが終わったら、何かほかのものと植え替えなきゃいけないわけですね。

片山 そうですね。秋までもったとしたら。だいたいそれくらいの時期まで普通であればもつはずです。挿し芽でも……。基本的にクローンですから。

沖田会長 枯れる前に冷蔵庫に冷凍して保存して……

片山 ダメかなー。(笑)

参加者 挿し芽だと、新芽とかがいいんですか？

片山 新芽だとちょっと柔らかすぎるので、新芽よりちょっと充実したくらいなんですけれども。枝の熟度というのはすごく難しく、慣れてくると大体このくらいだったら発根するだろうというのはわかるんですけども。

参加者 よくバラって色が違うじゃないですか。挿し芽をしているんだけど、同じ条件でつくやつとつかないやつがあるんだけど。

片山 基本的に枝が古くなってくると、発根しにくくなります。若すぎるとまた発根しないんですけども、・・・・。

沖田会長 あと、何かないですか、維持していくために。もう来られそうもないので、忙しい方だから。

参加者 そんなに日が当たっていないじゃないですか。あれで平気なんですか。

片山 植物は、一日中光を必要としないんです。とにかく午前中の光が重要で、午前中2時間3時間当たるか当たらないかで植物の生長が決まってきます。基本的には日陰に耐えるようなものを多く入れていきますので、そういう植物を多く使うと多少日の弱いところでも育つ、と。むしろ強い光のところに出すとあまり生長が良くないという状態になります。

参加者 直接当たるということが大事なのですか。それとも間接的でも？

片山 直接当たる方がいいですね、間接よりも。

参加者 半日陰って言うけれど、半日陰っていうのはどういうこと？



片山 だいたい木漏れ日程度。例えばガラス越しに部屋に植物を置いたりしますよね。あれは人間の目から見ると、すごく日が当たっているなと感じますけれども、植物にとってはだいたい半日陰くらいです。ガラス1枚通す通さないで、光の強さというのは変わって来ますので。とにかく日陰の植物でも、春に当たる光は非常に重要、真夏の光が一番植物を傷める訳であって、ギボウシだとかシダ類などは全部日陰に置きましょうという話がありますけれども、4月5月の光というのは非常に重要。これはもう直射が当たらないと葉の色もきれいに出来ませんので、芽が出るときからずっと弱い光だと、モヤシみたいにひよろひよろとなってしまいます。

参加者 今日植えたようなものは、虫はつかないのですか。

片山 虫はどんな植物でもつきますけれども、今回植えたので特に甚大な被害になるものはないですね。ペチュニアが蒸れたり雨が当たったりとか乾燥すると葉ダニですね。



参加者 Hさんのところは日が当たるの？

参加者 あそこ建物がなくて、だから日差しが当たるの。でも今日美しい花を置かせていただいて、皆さんに「あー、きれいね」って言われるの。うれしいけれど、守って行かなければならない。

参加者 今までと、通る方も目が違うと思います。きれいな花があるわよって。

沖田会長 それを理由に町会の仕事さぼらないように。

参加者 会長さん、こきつかうんですよ。

参加者 がんばって手入れするよりほかありませんね。

参加者 今日のことじゃなくてもいいですか。先ほど窓越しで50%というお話がありましたけど、コチョウランなんかでよく真夏とかそういうときは日陰にきなさいというので、日陰ネットというのがありますよね、遮光ネットかな、40%50%とか。窓越しで薄いカーテンがあれば、それで大丈夫なんですか。真夏とかそういう、木漏れ日程度というような言い方をしますけれども。

片山 そうですね。だいたい70%くらい遮光したほうがいいと思いますね。

参加者 日が当たるとやけちゃうんですよ。今時だとフルに当てても平気なんですか。

片山 今は大丈夫です。

参加者 家で毎年花を咲かせているんですけども、家の中だと花がだんだん小さくなってきて・・・

片山 基本的に部屋の中でできる植物は徒長しているんですね。モヤシみたいに。なぜかという風の流れがなくて、植物が弱くなってくるんですね。植物というのは接触刺激といいますかね、人に触られるとか風が常に当たっていると、体が締まってくるんですね。

断崖絶壁に生えている松は背が非常に小さいですけども、あれは強い風が当たっていますので、接触刺激によって生長が遅くなっているんですね。半分止まっているような状態。ですから部屋の中で植物を育てると、どうしても上に上に伸びてひょろっとしてくるんですね。風に当たるということは、そういう意味で非常に重要です。ですから1週間に1ぺんくらいは観葉植物でもですね、外に出して管理するというのが重要です。

参加者 声をかけたり、「きれいね」とかって。音楽をかけたりとかありますよね。

片山 どうでしょうね。確かかどうか、そういうことを実験して。人にもよるんじゃないですかね。(笑い)

沖田会長 クラシックとジャズと演歌と実験してみればいい。

参加者 モーツァルトがいいわね。

沖田会長 落ち着くのは何日頃ですかね。

片山 根がだいたい、植物体自体が環境に慣れてくるには1週間か10日すれば慣れてきます。生長が始まるのは2週間を目安にしてください。



沖田会長 2週間枯らさないで。

片山 これから温度が上がってきますから、生長も早いとは思いますが。

賀来 花を納品してきたトレーに麻袋をかぶせて作ったプランターは、乾きやすいと思いますね。

沖田会長 じゃあ、Yさんのところだけちょっと気をつけて。

参加者 でもあの場所いいですね。あそこに合っていますね。石を重ねてね。

沖田会長 あれ1個831円だったの。あの御影石。

参加者 2段重なって?

沖田会長 1枚。ご要望あれば1600円でお譲りします。

参加者 あの丸太ん棒が、杭でね。杭の先がとがっているのをドイツで切ってもらってね。面取りしてもらって。

参加者 大勢でもって花をいじるのって楽しいですね。

沖田会長 結構乱暴な人がいるので、優しくお願いします。

参加者 水やりなんかはまわりからあげた方がいいんですかね。花にかからないように。

片山 花にかけると花が傷んでいきますから。基本的には、根っこの方に。

参加者 葉っぱとかにはある程度かけた方がいいんですか。

片山 ほこりとか汚れが付きますから、基本的には葉にはかけた方がいいと・・・・・・・・。  
あと乾燥するとどうしても葉ダニとか虫が付きますから。

賀来 花に水をやるじょうろがありますね。あの先を普通とは反対向き（穴を下向き）にして水をかけるといいんです。あんまり葉っぱとか花にかけるとストレスになりますので。

参加者 大きな葉っぱとかはたしかにほこりが付くから水をかけるのは必要だと思うんですけども、あれ、拭いたらどうなんですか？



賀来 拭いてもいいですよ。

参加者 ジャーっとかけたら葉の付け根の間に入っちゃうのは？

賀来 良くないです。植物って意外とよくできていて、葉っぱがこうなっているじゃないですかオモトとか。ああいうのは要するに、オモトってほとんど軽石で植えますよね。ということは水がない（所な）はずなんですよ。本当は。逆にいうと葉っぱがこうなっているというのは、夜露がたまって水を補給できる。あんまり上からじゃあじゃあかけるとストレスになるんです。

参加者 今、桜草？は皆さんとっくに咲いているけれど、うちのはやっつつぼみが出てきて。早い遅いは、直射日光を当てないようにしていたんだけど、それをやりすぎて遅いのかなと思って。

片山 温度も関係しますし、水も関係しますよね。水が少ないと基本的に生長、花のつき、生長も遅いですし、それだけ伸びないです。あと温度もありますね。温度が低いと生長が遅いですから。

司会 それではそろそろ予定の5時になりましたので、本当に皆さん、片山先生と賀来先生も本当にありがとうございました。（拍手）

それと地元の皆さん、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。これから我々が「よろしく願います」というお願いをしている立場でして、大変かもし

れませんけれども、花を面倒みてあげてください。お願いします。

こういうワークショップは多分日本初かと思いますので、HPでどんどんアップしていっていますので、HPの方ももし見る機会があれば、ご覧ください。わたしの顔は載せないでという方がいらっしゃったら、ぜひお知らせください。では、本当にありがとうございました。お疲れさまでした。(拍手)



#### 参加者

上十条一丁目町会

10名(路地協会員1名:沖田)

十條あすみの会

4名(町会除く:宇田川、佐久間、路地協会員2名:荒木、高尾)

路地協会員

3名(上記を除く:今井、大熊、大和田)

(財)北区まちづくり公社

2名(寺田、富永)

北区役所

4名(まちづくり部長:萩原、まちづくり部参事:佐藤、環境課:星野、向井)

講師

2名((株)グリーンダイナミクス:賀来、片山)

路地協事務局

1名(木村)

